

シートベルト打撲に着目し眩暈を解消した症例

頸部刺絡では改善が見られなかった一例

積聚太郎

【目的】

積聚治療では病因として、交通事故による頸椎捻挫を重視する。しかし、交通事故後の眩暈を訴える患者に対して、頸椎捻挫に刺絡を行っても改善しない例を経験した。そこでシートベルトによる圧迫に着目し左の GB24 に刺絡を行ったところ、即座に症状の解消をみたので報告する。

【症例】

患者

43 歳女性、小学校教員、初診日 2014 年 10 月 6 日。

主訴

動くと頭がクルクルする眩暈。吐き気・嘔吐。

現病歴

2015 年 8 月 26 日：フェンスに車をぶつける物損事故。直後には不調はなかった。

8 月 29 日：起床時に回転性の眩暈。以降は動くと眩暈が起き、段々と悪化する。

9 月 2 日：眩暈によって嘔吐。嘔吐は 1 回だが吐き気は続く。

9 月 3 日：来院（本報告では便宜上 1 診目とする）。

既往歴・社会歴

12 歳：虫垂炎手術

中学生～高校生：陸上部（長距離走）

16 歳頃：ストレス性胃炎が習慣化

22 歳：小学校に赴任

29 歳：結婚

33 歳：出産（逆子で帝王切開）

42 歳：胃炎を主訴として来院

家族歴

父親（68）が高血圧で通院・服薬中

【結果】

1 診目（2015年9月3日）

切診：両側の SCM・Mb・BL39、CC3 に圧痛

脈診・脈調整：60 回／分。LU・SP-2 のため右 LU9 に施鍼。

腹部・背部：脾虚証（P：10+3）のため、左 2 行線に第 4 方式で施鍼。

補助治療：CC3 に刺絡。

経過：眩暈に変化なし。

2 診目（2015年9月14日）

問診：眩暈は頻度・強度ともに変わらず。吐き気・嘔吐はなし。事故後から左の胸膈下部に痛みがあることを思い出した。

切診：両側の SCM・Mb・BL39 に圧痛

脈診・脈調整：64 回／分。LU・SP-2 のため右 LU9 に施鍼。

腹部・背部：脾虚証（P：10+3）のため、左 2 行線に第 4 方式で施鍼。

補助治療：左 GB24 周辺の最も圧痛の強い箇所（第 7 肋骨）に刺絡。

経過：眩暈・吐き気の再発なし。受療後 2 日間は全身が筋肉痛のようだった。

【考察】

この症例では、眩暈の発症が物損事故の数日後であるため、事故がこの症状の病因となっていると推測できる。しかし、頸椎捻挫への刺絡のみでは症状の改善には不十分であった。そこで左の GB24 の圧痛への刺絡を行うことで症状の解消をみることにできた。このことから、左の GB24 への刺絡が症状解消に関与した可能性が高い。

GB24 は、例えば「太息善悲、少腹有熱、欲走、日月主之」『鍼灸甲乙経』などの記載が古典にはあるが、眩暈と関連付けるものは見つけることはできなかった。胆経としてみると流注が耳中を通る。しかし、胆経の病象を示す所見がないため、眩暈が胆経の異状に由来し、それを GB24 で是正したという可能性も低い。また、解剖学の観点からすると GB24 が関わるのは肋間神経であり、肋間神経への刺激が眩暈に直接作用することはない。つまり、GB24 の経穴・経絡の性質が眩暈に影響したとは考えがたい。

左の GB24 付近は、運転席に座っているとシートベルトが当たる位置でもある。自

覚痛・圧痛が事故後から生じていることから、物損事故の際にシートベルトによる圧迫による打撲と推測することができた。だからこそ外傷への処置を行うことで、眩暈を引き起こす病因を解消し、症状が消失したのだと考えられる。

【結語】

本例に限らず、交通事故による頸椎捻挫への刺絡を行っても、症状が解消できない例は多数経験できる。その際にシートベルトによる圧迫を考慮に入れることも、交通事故による症状へのアプローチとして有効なのではないだろうか。

【キーワード】

交通事故、外傷、眩暈

シートベルト打撲に着目し眩暈を解消した症例

～頸部刺絡では改善が見られなかった一例～

積聚太郎

1. 目的

積聚治療では病因として、交通事故による頸椎捻挫を重視する

しかし、交通事故がきっかけだと考えられる症状でも頸部刺絡で改善しないことも経験する

本発表では

交通事故後に発症した眩暈が頸部刺絡で改善せず

シートベルトによる圧迫を受けた箇所への刺絡で症状を解消した例
を報告する

2. 症例① 主訴

主訴

動くと頭がクルクルする眩暈 →吐き気・嘔吐

現病歴

2015年8月26日： フェンスで物損事故。直後には不調なし

8月29日： **起床時に回転性の眩暈**

以降は動くと眩暈が起き、段々と悪化

9月2日： 眩暈によって嘔吐（嘔吐は1回だが吐き気は継続）

9月3日： 来院（本報告では便宜上1診目とする）

3. 症例② 患者データ

43歳女性、小学校教員

既往歴・社会歴

- 12歳 : 虫垂炎手術
- 中学生～高校生 : 陸上部（長距離走）
- 16歳頃 : ストレス性胃炎が習慣化
- 22歳 : 小学校に教師として赴任
- 29歳 : 結婚
- 33歳 : 出産（逆子で帝王切開）
- 42歳 : 胃炎を主訴として来院（2014年10月6日）

4. 結果

1診目（2015年9月3日）

切診：脈速 60回／分。両側のSCM・Mb・BL39、CC3に圧痛

施術：基本治療 + **CC3に刺絡**

経過：**眩暈に変化なし**

2診目（2015年9月14日）

問診：**眩暈は頻度・強度ともに変わらず**。吐き気・嘔吐はなし

事故後から左の胸膈下部に痛みがあることを思い出した

切診：脈速 64回／分。両側のSCM・Mb・BL39に圧痛

施術：基本治療 + 左GB24周辺の最も圧痛の強い箇所（第7肋骨）に刺絡

経過：**眩暈・吐き気の再発なし**。受療後2日間は全身が筋肉痛のようだった

5. 考察① GB24について

古典による考察

主だった古典籍に眩暈と関連する記載はない

経絡による考察

胆経は耳中に流注するが、胆経による病象の所見は他にない
＝胆経の是正による結果である可能性は低い

解剖による考察

肋間神経支配　＝眩暈に関係する神経への作用はない

⇒**GB24特有の理由で眩暈を解消できたわけではない**

6. 考察② 外傷

1 診目 頸部刺絡 → 眩暈に変化なし
= 頸椎捻挫が眩暈を引き起こしたわけではない

2 診目 GB24刺絡 → 眩暈を解消し再発なし
= GB24への外傷が眩暈を引き起こした可能性

交通事故がきっかけで発症した眩暈ではあるが

頸椎捻挫だけでなくシートベルトによる肋骨圧迫が打撲として影響したのではないか

7. 結語

交通事故がきっかけとなる症状が
頸部刺絡を施しても改善しない場合

シートベルトによる圧迫も打撲となり外傷として影響している
と考慮することも有効であると考えられる

8月25日 (21 回)				9月3日 (22 回)				9月14日 (23 回)				9月19日 (24 回)			
(976 hPa)(94%)(25 °C)(W: R)				(996 hPa)(94 %)(23 °C)(W: R)				(1010 hPa)(88 %)(25 °C)(W: F)				(1006 hPa)(57 %)(32°C)(W: F)			
病状 SS・㊟・G・T 前日から胃が動いてない感じ 両足にむくみと冷え もうすぐ生理でイライラ				病状 SS・㊟・G・T 8/26 物損事故 不調なし 8/29~ 起床時めまいクルクル 以降動くともまい 段々ひどくなる 9/2 吐き気→吐く (1回)				病状 SS・㊟・G・T めまい 変わらず 吐き気・嘔吐はなかった				病状 SS・㊟・G・T めまい・吐き気なし 前回後2日間は全身が筋肉痛 のようだった			
脈状 不整脈(/)				脈状 不整脈(/)				脈状 不整脈(/)				脈状 不整脈(/)			
取穴 R・LU9		60 回/m		取穴 R・LU9		60 回/m		取穴 R・LU9		64 回/m		取穴 R・LU9		56 回/m	
+3		-1		+3		-1		+3		-1		+3		-1	
+2		-2	LU・SP	+2		-2	LU・SP	+2		-2	LU・SP	+2		-2	LU・SP
+1		-3		+1		-3		+1		-3		+1		-3	
P	15+3 0	メモ		P	10+3 1	メモ	生理5日目 量が多い	P	10+3 0	メモ		P	10+1 0	メモ	
	10+1 0														
H				H				H				H			
M				M				M				M			
(HT 証) ㊟・R (1 式)				(SP 証) ㊟・R (4 式)				(SP 証) ㊟・R (4 式)				(SP 証) ㊟・R (4 式)			
O	3 2 1 5	52	L R	O	3 5 4 2	52	L R	O	3 5 4 2	52	L R	O	3 5 4 2	52	L R
I		P	1 2	I		P	1 2	I		P	1 2	I		P	0 1
J		H		J		H		J		H		J		H	
G				G				G				G	3 5 4 2 (CK2)		
L				L				L	GB24			L			
R	SCP		GB21	R			GB21	R			GB21	R	Mb		GB21
B・M	SP9、BL39			B・M	SCM、Mb、CC3、BL39			B・M	SCM、Mb、BL39			B・M	SP9、BL39		
L			GB21	L			GB21	L	GB24 (BL)		GB21	L			GB21
R				R				R				R			
B・M	CV8 (CK3)			B・M	CC3 (BL)			B・M				B・M			